

放課後デイ ゼロパワー

支援プログラム

作成日

2025年

1月

21日

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|----|---|----|---|---------|---|----|--|---------|----|
| 法人（事業所）理念 | | 一人ひとりが最大に輝く未来を支援します。 多くの方々のパワーを感じながら社会生活能力を身に付け、自立できるよう支援していきます。 | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | SST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れ、社会性、自己表現の向上を目指し、「楽しい」から「できた」「やれる」自信をもてるよう支援していきます。 | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 登校日 | 14 | 時 | 45 | 分 | 17 | 時 | 45 | 分 | 送迎実施の有無 | あり |
| | | 学休日 | 10 | 時 | 00 | 分 | 16 | 時 | 00 | 分 | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 食事、排泄、衣類の着脱、身の回りを清潔にするなどの生活に必要な基本的技能の獲得を支援する。 予定表を見て行動できるようになる。また、時間通り行動するためには、いつからどんな準備をしたら良いか考えられるようになる支援をする。 | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 運動トレーニング（平均台、マット運動、ボール運動など）で姿勢保持と動作の基本的技能の向上をはかる。 リトミック（歌、ダンス、楽器演奏、昔遊びなど）で視覚、聴覚、自身の身体感覚を十分活用できるようになるよう支援をする。 | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ひとりひとりに合ったプリント教材、タブレット教材を用意し、文字、読解、数、大小、計算などの理解を支援し、行動の手がかりとして活用できるようにする。 軽作業（袋詰め、清掃活動など）を通じて、必要な情報を的確に取得し、作業イメージを持って行動につなげていくという一連の認知過程の発達を支援する。 | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | SST(ソーシャルスキルトレーニング)で相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解するといった共同注意の獲得や、場面に応じた言動、対応など、人との関わり方について学ぶ支援をする。 帰りの会時のステップアップ発表(その日に自身が取り組んだことを発表する、また、他の児童のがんばっていたことを発表する)で定型文を言えるようにし、徐々に文節、パターンを増やし、言語の獲得を支援する。 | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | カードゲーム、ボードゲームなどでルールや手順を理解し、遊びや集団活動に参加できるようになる支援をする。 公共交通機関を使った移動支援 | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 定期的な療育アドバイザーによる相談会、茶話会（保護者同士の交流）、送迎時の保護者からの相談対応 | | | | | 移行支援 | | | 進路相談 進級時の支援、相談 | | |
| 地域支援・地域連携 | | 担当者会への参加 ハロウィン、クリスマスでの地域の商店街との連携 地域の商店での買い物 | | | | | 職員の質の向上 | | | 障がい児成長支援協会で開催される研修会の受講 療育アドバイザーによるスーパーバイズ | | |
| 主な行事等 | | 夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、地域の行事（安城七夕まつりなどのイベント） | | | | | | | | | | |